

## お知らせ

愛媛大学医学部附属病院では、医学・医療の発展のために様々な研究を行っています。その中で今回示します以下の研究では、患者さんのカルテの記録を使用します。

この研究の内容を詳しく知りたい方や、カルテを利用することをご了解いただけない方は、下記【お問い合わせ先】までご連絡下さい。

### 【研究名】

緩和ケアチーム介入患者に対する薬剤師の薬学的介入と医療経済学的評価に関する研究

【研究機関】愛媛大学医学部附属病院薬剤部

【研究責任者】飛鷹範明(薬剤部 助教)

### 【目的】

これまでに緩和ケアチームにおける薬剤師の役割を評価した報告は少ないのが現状です。今回、愛媛大学医学部附属病院に入院し、緩和ケアチームへ紹介された患者さんを対象に、緩和ケアチームの専任薬剤師が行った薬学的介入事例について、その医療経済効果を評価することで薬剤師介入の有用性について検討します。

### 【研究意義】

緩和ケアチームが介入する患者に対する薬剤師の医療経済効果を評価することで他職種から構成される緩和ケアチームの院内・外に対する認知度向上が期待でき、より早期からの緩和ケアの介入に繋がることが期待されます。

### 【研究方法】

対象患者:2016年4月～2018年3月に緩和ケアチームへ依頼(紹介)があった愛媛大学医学部附属病院の入院患者さん

調査方法:電子カルテ(IBM)を用いた後方視的調査

調査項目:年齢、性別、病名歴、薬歴(オピオイド鎮痛薬、非オピオイド鎮痛薬、制吐剤、緩下剤の併用有無と薬品名、用法・用量、投与日数)、検査歴(AST・ALT、血清Cr値、Ccr、eGFR)、身体症状(疼痛、悪心・嘔吐および排便状況、眠気、呼吸回数等)、介入の経緯(発端や原因)、介入の結果(経過)

### 【研究期間】

2017年3月1日～2027年3月31日

### 【個人情報の取り扱い】

収集した情報は名前、住所など患者さんを直接特定できる個人情報を除いて匿名化いたします。個人を特定できるような情報が外に漏れることはありません。また、研究結果は学術雑誌や学会等で発表される予定ですが、発

表内容に個人を特定できる情報は一切含まれません。

さらに詳しい本研究の内容をお知りになりたい場合は、【お問い合わせ先】までご連絡ください。他の患者さんの個人情報保護、および、知的財産の保護等に支障がない範囲でお答えいたします。

**【お問い合わせ先】**

愛媛大学医学部附属病院薬剤部 助教 飛鷹範明

791-0295 愛媛県東温市志津川

電話番号:089-960-5731

e-mail:noridah@m.ehime-u.ac.jp